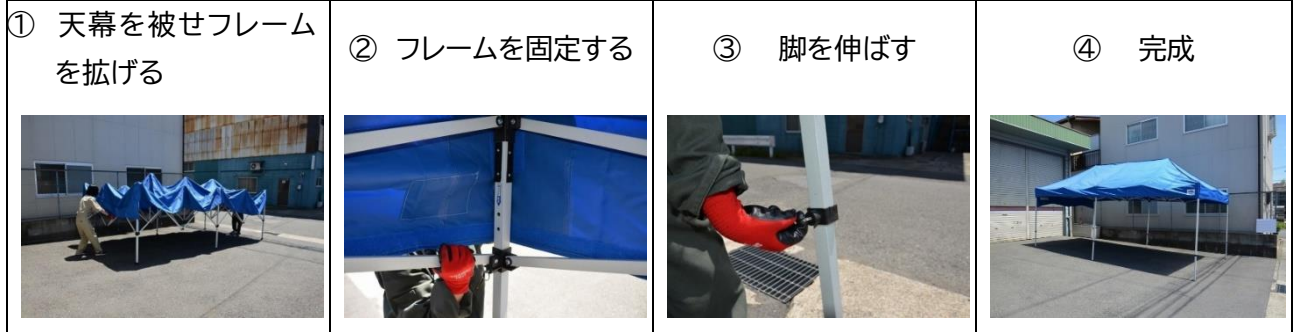


## 設営のポイント

簡易テントは軽くて設営がやすく便利ですが、風で飛ばされたり、飛ばされたテントでケガをする危険があります。風だけではなく、場合によっては不意に人や物が支柱に当たったことで、倒れる危険性、吹き飛ばし危険性があります。

### 1. 正しく設営する



### 2. 風による吹き飛びや倒壊を防ぐ

#### ① 脚に重り（ウエイト）を付ける方法

鉄、砂、水を重りにして、テントの脚に付ける。常設に近い形で使用するなら、「鉄」か「砂」が良い。簡易テント用なら「水」を重りにすると使用しない時に軽くなる。砂を入れた袋や灯油タンクなどでも代用できる。1個20kg以上の重りを数個つける。軽いと飛ばされる危険がある。ペグが使用できない場所での設営に使用すると良い。



#### ② ペグ（杭）を使う方法

テントフレームの脚に穴にペグを差し込み、ハンマーなどを使って打ちこむ。足で押し込むと、ペグが曲がってしまうことがあるので、注意する。40cm以上の長さの物が強風対策に適している。



#### ③ ロープとペグを使う方法

テント天幕に直径5mm以上の太めのロープをくくりつけて、地面に刺したペグと固定する。テントの脚にペグを刺すだけの方法より、ペグと重り、ペグとロープを併用した方が効果がある。

